

令和3年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	82		学校名		茨城県立水海道第二高等学校				課程		全日制		学校長名		菊池 紳一郎				
教 頭 名	鈴木 匠												事務(室)長名		柴崎 聖司				
教職員数	教 諭	45	養護教諭	1	常勤講師	0	非常勤講師	6	実習教諭、実習講師、実習助手		1	事務職員	3	技 術職員等	4	計	63		
生 徒 数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数						
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女							
	普通科		37	78	42	74	31	86			110	238	9						
	商業科		21	42	24	49	24	56			69	147	6						
	家政科		0	40	0	40	0	38			0	118	3						

2 目指す学校像

(1) 教育方針
豊かな人間性を培い、自律と協和の精神を育み、たくましい心身と優雅さを併せ持った、社会に貢献できる人材を育成する。
① 学習指導の充実に努める。
② 生活指導の充実に努める。
③ 進路指導の充実に努める。
(2) 努力目標
① ・生徒の実態に即する適切な学習指導方法を工夫改善し、授業内容の充実を図る。
・学習に対する自主的な姿勢の育成を図る。
② ・心の教育を充実に、規範意識の向上を推進する。
・健康・安全教育を推進し、特別活動を通して協調精神を養成する。
③ ・適性・能力・興味関心等、個々の生徒の実態に応じた進路指導を展開し、希望進路の実現を目指す。
・望ましい勤労観や職業観の確立を目指すためキャリア教育を推進する。

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む。)

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	学習に関する潜在能力の高い生徒が多いが、全体として学習への取り組みが十分とはいえない。平日の家庭学習時間が1時間に満たない生徒が3割程度いる。	学習意欲や興味関心を高める授業実践、家庭学習の習慣化を図るための指導の工夫を行う。
進路指導	3学科(普通科・家政科・商業科)の多様な進路希望に対応できるよう、適切な進路情報の提供や個別の指導が必要である。8割以上の生徒が進路指導に満足している。	各学科の特性を生かして生徒一人ひとりの能力を伸ばし、より高い目標を持たせる進路指導を実践する。
生徒指導	基本的生活習慣の確立・問題行動の未然防止・学校内外の安全対策に対して、学校全体で取り組んでいる。生徒は落ち着いた生活ができています。	服装容儀や交通マナーについての指導をさらに徹底し、保護者や地域の信頼や期待に応えるよう努める。
特別活動	生徒会の活動は自主的に運営されているが、一般生徒の参加が十分とはいえない。部活動の加入率は約70%である。キャリアパスポートを活用し、職業教育の機会確保に努め、適切な職業観の育成を行っている。	学校行事や生徒会活動をととして自主的、実践的な態度を養う。部活動への加入率75%を目指す。
情報発信	ホームページの更新(約100回)や緊急情報メールを発信することにより保護者等に対する情報提供を行っている。	ホームページや緊急情報メール等により、教育活動の状況をさらに積極的に発信する。
働き方改革	昨年度10月の在校時間調査において、月の超過勤務時間が80時間を超える教員は無かった。超過勤務時間の1日の平均は約41分であり、十分とは言えないが時間外の勤務時間は抑えられている。	学級担任や運動部顧問が勤務超過になりやすいので、業務の精選や、分担を図る必要がある。

4 中期的目標

- 1 生徒自らの学習意欲の向上を図り、学習内容及び指導方法の研究と改善に努め、魅力ある授業の展開を目指す。
- 2 生徒一人ひとりの、多様な希望進路に対応できる指導体制の確立に努める。
- 3 豊かな心の育成を図るために、ボランティア研修・活動を行いながら、人権教育や道德教育の充実を図る。
- 4 人間関係を円滑にし、生徒が生き生きとした学校生活を送れるよう学校行事等を充実させ、教職員と生徒が共にあたる協働精神の育成を目指す。
- 5 健康な学校生活を送れるよう安全で安心できる学校環境の整備及び美化に努める。
- 6 地域に開かれた学校を目指し、教育活動についての情報を保護者や地域、中学校に向けて発信し、本校に対する理解や協力を得られるよう努める。
- 7 業務の精選や分担方法の改善を積極的に図って、生徒とのコミュニケーションの時間を増やすとともに、教員のスキルアップの場を確保する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
学力の向上	①授業や家庭学習に生徒が主体的に取り組めるよう、教科指導の工夫・改善に努め、魅力ある授業の展開を図る。 ②授業時間数や授業時間(50分)の確保に努める。 ③個別面談を学校全体の取り組みと位置づけ、学習意欲を高める面談指導の充実を図る。
進路指導の充実	④生徒の進路意識を高め、生徒の多様な進路希望にきめ細かく対応する。 ⑤積極的な面接指導、的確な進路情報の提供、課外授業の充実に努める。 ⑥進路ガイダンス、進路講演会、インターンシップ等を通してキャリア教育を推進する。
生活指導の充実	⑦毎朝の登校指導を行い、挨拶・声かけ運動の推進、毎日の清掃の徹底を図る。 ⑧豊かな心の育成を図り、服装・頭髪をきちんとさせるなど規範意識の高揚を図る。 ⑨安全教育、特に交通安全教育を推進し、交通事故の絶無に努める。
特別活動の推進	⑩学校行事等の企画・運営を生徒中心に行い、自主的、実践的な態度を養う。 ⑪魅力ある部活動を展開し、加入率75%を目指して活気ある学校にする。 ⑫キャリアパスポートを活用し、職業教育の機会確保に努め、適切な職業観の育成を行う。
学校情報の積極的発信	⑬ホームページや各種通信等により、教育活動の状況を積極的に発信する。 ⑭学校公開事業等を通して、開かれた学校づくりに努める。 ⑮緊急情報メールを適切に活用し、重要度の高い情報が確実に保護者に伝わるよう努める。
働き方改革	⑯進路指導や学習指導の場面で業務の効率化を進めるとともに、全職員の連携により業務の分担・軽減を図る。 ⑰部活動においては、練習方法を工夫するなどして、活動時間の短縮に努める。